

同志社大学

2013年度 個人研究費研究経過・成果報告書

2014年 3月 19日提出

所 属	職 名	氏 名
心理学部	助教	渡邊 ひとみ
研 究 題 目	女性のライフコース選択とアイデンティティとの関連	
研 究 成 果 の 概 要	<p>女性が働くことも当たり前となり、出産後も就業継続するケースが増加している今日、女性は様々な社会的文脈に参加し、複数のアイデンティティを形成している。仕事と育児の両立の中で、複数あるアイデンティティを取捨選択しながら個としてのアイデンティティを維持することもあるが、“健全なアイデンティティ発達の促進”という観点からみると、複数あるアイデンティティを取捨選択することなく統合することが重要であるといわれている。そこで、今年度は、「既婚勤労女性がどのように複数のアイデンティティを統合しているのか」をテーマとし、検討を進めている（学術雑誌「Identity」に論文投稿・現在審査中）。また、本研究内容は、2014年3月27-30日に開催されるThe Asian Conference of Psychology and the Behavioral Sciencesにおいて発表される予定である（タイトル：The ntegration of multiple identities after marriage）。また、アイデンティティ形成のきっかけとなるイベントについては、特定の同一イベント（例えば「結婚」や「出産」）ではなく、個々人の新たな気付きをもたらすイベントの重要性が指摘されている。しかし、具体的にどのような特徴をもつイベントが内面的変化を引き起こし、しいてはアイデンティティ形成のきっかけとなり得るのかについてはこれまで検討されていない。そこで、現在はアイデンティティに関連するイベントの特徴と女性のライフコースとの関わりについても検討中である。なお、本研究内容は、2014年3月21-23日に開催される日本発達心理学会第25回大会において発表される予定である（タイトル：アイデンティティ形成に関連するイベントの感情的側面の検討）。</p> <p>本年度は、上述の活動内容に加え、昨年度実施した研究内容を論文としてまとめ、学術雑誌に投稿した（「応用心理学研究」に掲載内定）。また、来年度（2014年7月）にパリで開催される28th International Congress of Applied Psychologyにおいて研究発表を行う（タイトル：The effects of the interaction between subjective happiness and domain interest on adolescents' schadenfreude）。</p>	